

京都市帝國大學法學科大學

經濟論叢

大正五年九月一日發行

第三號

第三卷

論說

聯合國經濟同盟ニ對スル我國ノ態度

法學博士 戸田 海市

國防稅ノ當否(二)

法學博士 神戶 正雄

でがめつぎ・ひゆーむノ經濟學說(五)

法學博士 福田 德三

『座』ノ研究(二)

文學博士 三浦 周行

兌換券ト物價ト輸出入ノ關係ヲ論ズ

法學博士 小川 郷太郎

資本ノ眞概念ノ發展(三、完)

法學博士 河上 肇

雜錄

小野塚牧野兩博士ノ新著

法學博士 福田 德三

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ福田博士ニ答フ

法學博士 戸田 海市

びゆつひあーノ經濟發達階段說ハ其獨創ニ非ズ

法學博士 神戶 正雄

最低賃金ノ制度ニ就キテ

法學博士 山本美越乃

日英ノ物價

法學士 河田 嗣郎

手ノ器用ト其脩養

法學士 財部 靜治

『通俗經濟文庫』卷一ヲ讀ミテ

法學博士 河上 肇

『瀧本誠一氏ノ草芽ニ就テ危言摘義解題』ノ補遺

法學博士 鈴木 券太郎

(載 轉 禁)

びゆつひあーノ經濟發達
段階説ハ其獨創ニ非ズ

神戸 正雄

最近入手シタ社會政策及立法年報ニみゆんす
たー大學教授ふれんげ氏ノ『經濟發達段階ト經
濟ノ發達』ト題スル一論文ガ載ツテ居リ、*此文
ニ於テ氏ガびゆつひあー教授ノ有名ナル經濟發
達段階説ヲ批評シテ、其ガびゆつひあーノ獨創
説ニ非ズシテ、實ハ故人タルしえーんべるハ教
授ノ説ヲ借用シタルニ止マルコトヲ喝破シタノ
ハ、實ニ近頃ノ學界ニ於ケル最興味アル事件ト
考フルノ故ニ、茲ニ敢テ其批評ノ要點ヲ紹介ス
ル。

びゆつひあーノ經濟發達段階説、詳シクイヘ
バ家内經濟ヨリ都市經濟ニ、更ニ國民經濟ニ移
ルトノ説ガ二十年來同氏ノ説トシテ承認セラ
レ、而モ其カ非常ナル影響ヲ學界ニ及ボシテ、
殆ンド凡ヘテノ教科書及其他ニ引用セラレテ居
ルホドデアアルコトハ、苟クモ經濟學ヲ多少トモ

* Plenge, Wirtschaftstufen und Wirtschaftsentwicklung, in Annalen für sociale Politik und Gesetzgebung. 4 Bd. 5 und 6 Hft.

勉強シタ者ノ何人モ知ル所デアル。而シテ此說ガ其ノ斯ノ如クニ勢力ヲ得タ所以ノモノハ、在來ノ發達段階說タル自然、貨幣、信用經濟說ノ如ク、交易方便ノ一方面ノミヲ見タルモノヤ、狩獵、牧畜、農業、農工、農工商時代說ノ如ク、生産ノ主要ナル方向トイフ一方面ノミヲ觀タルモノト異ツテ、其時其時ノ經濟狀態ヲ全體トシテ、其構造及經過ニ於テ、更ニ凡ベテノ機關及機能ヲ綜合シタル處ニテ、考察スルノ點ニ於イテ前諸說ニ勝ルモノアルコトニ存スル。

然ルニビゆつひあーノ此說ハ實ハ既ニ今ヨリ五十年前ニ、詳シクイヘバー一八六七年五月ニ出版サレタル國民經濟及統計年報ニ於テしえーんベるハ教授ガ發表シタ所ノ『中世獨逸同業組合制度ノ經濟上ノ重要ニ就イテ』ト題スル論文**中ニ說カレタ所デアツテ、夫ノ說ノ骨子タル所ハ殆ンド凡ヘテ此ニ於テ說キ盡サレ、而モビゆつひあーヨリモ一層明瞭ニ說キ明カサレ、ビゆつひあーハ唯ダ諸多ノ事實ヲ集メ來ツテ、此しえーんベるハ此說ヲ敷衍シ大成シタトイフニ止マ

ル。

今しえーんベるハ此說ヲ一々詳說シテビゆつひあー說ト對照スルノ暇ヲ有タヌガ、唯ダ其ノ重要ナル二三點ヲ指摘スルト、しえーんベるハ此モ既ニ夫ノ家内經濟、都市經濟、國民經濟ノ名ヲ使ツテ居リ、此二段ノ發達ヲ明ニ認メ、更ニ根本的ニ夫ノ國民經濟ガ全文明發達ノ成果ナルコトヲ自明トシテ居ル。彼ハ歴史的狀態 (Zustände)ノ比較トイフコトニ重キヲ置キ、斯ノ如キ狀態即チ經濟事情ノ各時代ノ全秩序ヲ一ノ統一ナル全體トシテ觀察シ、更ニ斯ノ如キ狀態ヲ以テ不斷進展スル所ノ歴史的發展ニ於ケル變遷的狀態即チ次第次第ニ發達成育スル所ノ事情ト爲スモノデアル。加之斯ノ如キ狀態ヲ以テ模型的狀態即チ場合ニヨリ多樣ナル形ニテ表ハルルモノ而モ尙ホ根本義ニ於テハ或共通點ヲ有スルモノト爲スノデアル。要スルニ此等諸點ニ於テ、彼ノ說ニハ夫ノ階段說又ハ狀態說ノ研究法上ノ特徴ヲ具フル所デ、此點ニ於イテしえーんベるハ方ガビゆつひあーヨリモ一層明瞭デアアル。唯ダしえ

** Schönberg, Zur wirtschaftlichen Bedeutung des deutschen Zunftwesens im Mittelalter; in Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik. 9 Bd.

いんべるひノ缺ク所ハ、外形的特徴タル『販路ノ長サ』ヲ區別標準トスルコトニ關スルモノノミデアアル。併シ此ノ點ノ如キハ夫ノ説ノ根本的ニ重要ナル點デハナイ。尙ホ茲ニ特ニ興味ガアルノハびゆつひあーヨリ襲用サレタル調和特徴ヲしえーんべるひ自身ガ重キヲ置イテ提唱シタコトデアアル。曰ク『消費者又ハ其媒介者タル商人ヘノ生産物ノ販路トイフモノガ、完成シタル生産ノ目的デアリ、兼テ又新ナル生産ノ動機デアアル此ガ生産ノ循環トイフコトノ動力デアアル』ト、又以テびゆつひあーノ思想ノ萌芽ヲ見ルコトガ出來ル。

斯ノ如クびゆつひあー説ガしえーんべるひニ出ヅルコトハ明カデアアルガ、其ノ獨リびゆつひあーヲシテ名ニ成サシメ、しえーんべるひノ貢獻ヲシテ埋没セシメタノハ、しえーんべるひノ論文ノ表題ガびゆつひあーノ其ト異ツテ居リ、發達階級説ヲ表ハシテ居ラヌト、びゆつひあーノ説ノ出デタル時ガ、しえーんべるひノ説ノ出テタル時トハ餘程距ツテ居ツタノトデ、當時

最早多クノ人々ノ注意ニ留マラナカツタ爲メデアアル。併シ既ニ此ノ如クびゆつひあー説ノしえーんべるひニ出ヅルコト明トナレル以上ハ、吾人ハ今日以後夫ノ段階説ヲムシロびゆつひあー説トセズシテ、しえーんべるひ説ニ改メナケレバナラヌ。特ニびゆつひあーノ不都合ナルトハ、しえーんべるひノ論文ヲ参考借用シテ其書ヲ著ハシ其説ヲ立テテ置キナガラ、其ノ此ニ出ヅルコトヲ明カニシナカツタトコデアアル。吾人ハ飽迄モ夫ノ説ノ創設者トシテノ榮冠ヲびゆつひあーヨリしえーんべるひニ移サナケレバナラヌ。